

## 連合 2016平和ナガサキ集会開かれる

# 「核兵器は残酷な兵器です！」

～平和アピール宣言を満場一致で採択～



平和ナガサキ集会に参加した連合福島派遣団の皆さん  
セージが語られ、若者のしっかりとした活動を心強く感  
じた。さらに、恒久平和の実現に向けて核兵器廃絶への  
新たな一步を合言葉に、次世代への継承を発展させ、核  
廃絶運動を粘り強く取り組んで行く平和アピール宣言  
が満場一致で採択された。

2日目の8月9日は、長崎に原爆が投下され7万人以上  
の尊い命が一瞬のうちに奪われた日から71年目を



長崎平和祈念式典会場にて

を迎え、被爆71  
周年長崎原爆  
犠牲者慰霊平  
和祈念式典が  
開催された。長崎市長は平和宣言で、「長崎に来てください。  
事実を知ること、それがスタートです。核兵器の恐ろしさ、  
人々の身体を貫く放射線、そのために引き起こされた病気  
や障害が、生き残った人たちを今も苦しめている現状、核  
兵器は残酷な兵器です。」と訴えた。

連合福島派遣団一行は平和式典参加後、長崎平和公園等  
被ばく関係施設を中心に視察し、各組織・個人それぞれが  
連携しながら、平和運動の取り組みを強めていかなければ  
ならないことを痛感して、福島への帰路について。

「連合2016平和ナガサキ集会」は、8月8日  
(月)、長崎県立総合体育館メインアリーナを会場  
に、全国から連合組合員など多くの仲間が結集し開  
催された。連合福島からは派遣団として、二本松・  
安達地区連合の高橋議長を団長に、8名が参加した。

オープニングイベントで、ハンドベルの美しい音  
色を聞きながら、改めて今の平和な暮らしに感謝す  
るとともに、全世界の平和が早期に実現されること  
を願った。そして当時12歳だった被爆者からは、  
原爆野を歩き両親を救助した悲惨な体験談や、高校  
生の平和大使からは熱き平和への願いを込めたメッ



平和ナガサキ集会の会場

平和ナガサキ集会の会場